

令和2年第2回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和2年2月20日（木） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 小関事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・川合事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・大巾文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長（兼）オリンピック対策室長・小栗施設計画対策官・花田教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・二村図書館長（兼）蛭川済美図書館長・青木中央公民館長・林鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第5号	中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例施行規則の一部改正について	承 認
第2	議第6号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承 認
第3	議第7号	美術品等の購入に伴う諮問について	承 認

■教育長 ただいまから、令和2年第2回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告いたします。

1月24日は東農5市の教育長会研修会で、京都市渉成小学校研究発表会を参観しました。27日は東濃地区教育長会に出席しました。同日、東濃地区学校図書館教育賞表彰式があり、中津川市からは総合優秀賞に蛭川中学校、優秀賞に山口小学校、蛭川小学校、第一中学校、努力賞に坂下中学校が表彰を受けました。市全体で絆プラン等によって読書活動の充実を進めているところですので、いくつもの学校の受賞をうれしく思いました。同日、夜に教育評価委員会を開催しました。28日は教育長訪問で中津川幼稚園、山口幼稚園を訪問しました。29日は坂本小学校で伊勢市との給食交流試食会があり、伊勢のあいませといった料理や、あおさの味噌汁を子どもたちと一緒にいただきました。30日は教頭会に出席しました。2月2日は南地区三世代交流芸能フェスティバルに参加しました。5日は校長会に出席しました。6日は岐阜市で都市町村教育長会合同冬期研修会があり、出席をしました。12日は松田昌次元校長の叙勲伝達を行いました。16日は郷土かるた競技大会に出席しました。19日は東濃地区教育長会に出席しました。同日、デンソーテン様より寄附を受けました。

今後の主な予定です。2月27日から3月定例市議会が始まります。3月1日は阿木高校の卒業式、6日は中学校の卒業式、14日は田瀬小学校の閉校式、25日は小学校の卒業式となっております。また、坂本保育園、坂本幼稚園の閉園式に出席する予定です。

以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。

小関事務局長。

■事務局長 それでは前回以降の主な出席行事等について報告します。

1月27日、教育評価委員会が開催されました。28日は中津川幼稚園、山口幼稚園の教育長訪問に同行しました。29日は伊勢市との給食交流試食会で、私も坂本小学校で給食をいただきました。30日は新型コロナウイルス関連肺炎に関する警戒本部会議が開かれました。学校関係では、中学校1年生1名が2月9日に中国から帰国され2月10日から登校予定でしたが、2週間自宅学習で経過観察しています。今のところ発熱等の症状はみられません。2月1日は田瀬小学校の保護者の皆様に、統合に伴うスクールバスの運行について説明会がありました。当初はスクールバス1台で運行する予定だったものを、付知のバスが利用可能になったこと

により2台で運行できるようになったことなどを報告させていただき、駐車場所などのご意見をいただきました。5日は校長会がありました。10日は東日本大震災のときに女川町で教員をしてみえて、石巻市で津波によりお子さんを亡くされた佐藤敏郎氏を講師としてお迎えして学校防災研修会がありました。18日は青少年健全育成推進市民会議地域非行対策部会・安全安心まちづくり推進市民会議いじめ対策部会の合同会議が開催されました。夜には保育士・幼稚園教諭と教育長との懇談会がありました。19日はデンソーテン中津川製作所、デンソーテン労働組合中津川分会様から、16日に開催されたチャリティー講演会の寄附金とオーディオセットの寄附をいただきました。この際に、これまでの多額のご寄附に感謝の意を表する感謝状をお渡ししました。

今後の予定です。21日にとうしん地域振興協力基金様から図書購入の助成金をいただく予定ですので、その受領に参加します。26日に教頭会が予定されています。27日に校長会、市議会3月定例会の初日が開催される予定です。

以上です。

■教育長 次に、大巾文化スポーツ部長、報告をお願いします。

■文化スポーツ部長 それでは文化スポーツ部に係る主な行事についてご説明します。

1月26日、文化財防火デーに伴う消防署の火災防衛訓練が阿木の長楽寺で行われました。27日、教育評価委員会が開催されました。31日、日本遺産追加認定に向けて協議を行なっている木曾地域文化遺産活性化協議会会長の向井南木曾町長と、市長との面談が行われました。日本遺産「木曾路はすべて山の中 山を守り山に生きる」に中津川市の島崎藤村宅、これは馬籠宿の本陣跡ですが、それを追加し、1月16日に長野県を通じて、文化庁に申請しました。5月頃、認可の可否の通知が来る予定です。同日、第19回岐阜県獅子芝居公演反省会が開催されました。2月13日、国際交流事業検討委員会が開催されました。17日、中津川市郷土かるた競技大会が開催されました。

今後の予定です。2月21日、中津川センターロータリークラブ創立45周年記念事業として、ラグビー元日本代表キャプテンの廣瀬俊明氏の講演会が開催されます。22日、同じく中津川センターロータリークラブの記念事業として、桜の植樹が中津川運動公園で開催されます。同日、第50回中津川オープン林八郎杯卓球大会が開催されます。また、24日には第50回の記念として、平野早矢香さんの卓球教室と後援会が開催されます。26日、社会教育委員の会兼公民館運営審議会から市長に、福岡・苗木・付知の指定管理公民館の評価報告書が提出されます。27日、令和2年第1回中津川市議会定例会が開会されます。28日、博物館協議会が

開催されます。3月1日、第68回東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会が東美濃ふれあいセンターで開催されます。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

ご質問等がないようですので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 議第5号「中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」提案説明をお願いします。

池戸生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 この廃止については、市民に了解を得て進めていると認識します。機能していないところを野放しにしないで、廃止し、土地を借りていけば返して費用を減らしていくことは、大変大事なことだと思います。全く機能していないところは難しくないと思いますが、目に見えて利用が少なくなっても、いまだに利用者がみえるところは、大変対応が難しいと思います。しかし、市全体として、大所高所から判断して説明し理解を求めて、早く動いていただくことが市民のためにもなると思いますので、今後も進めていただきたいと思います。

■教育長 そのほかご質問等ありますか。

ないようですので、議第5号については、承認ということよろしいでしょうか。

議第5号「中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例施行規則の一部改正について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第6号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」のうち、「1 中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」提案説明をお願いします。

河合幼児教育課長

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願い

します。

田島委員。

■田島委員 現在のところ、0歳、2歳の子どもたちの受け皿は満たされていますか。待機児童はいないでしょうか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 平成28年度以降、待機児童は発生しておりません。しかし、この待機児童というのは国の基準によって公表する数字ですので、いわゆる潜在待機児童はいます。「A園に入りたい」と言って、B園なら入れるけれどもA園に固執するので入れない子どもたちが、潜在待機児童になってしまいます。そういう子どもたちは、2桁台で推移しています。

■田島委員 兄弟で同じところに入りたいというのも入っているわけですね。今、0歳、2歳が満たされ、緩和されて、新しく園をつくる方々、競争相手が出てきやすくなったということですか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 一つの見方としてはそう考えられますが、別の意味では、潜在待機児童が埋まってくるという希望の方が強いと思っています。

■教育長 そのほかありますか。

ないようですので、続いて、「2 中津川市特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」提案説明をお願いします。

河合幼児教育課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 緩和されることによって、都合のいい親が安心して保育をお願いして生活できることに一歩近づいたと思ってよいのでしょうか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 家庭的事業というのは市で認可します。今、認可外がいろいろとありますが、ある意味、自由に受けていただいているところがあり、制度の担保が少し欠けている可能性があります。市の認可ができる保育所といいますか、家庭的事業所が増えることによって、その制度が保てるようになってくるのではないかな

と、これは良いことだと思っています。

■教育長 そのほかございますか。

ないようですので、続いて、「3 令和元年度中津川市一般会計補正予算のうち教育に関する事務に係る部分」について、説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 議案の差し替えがありますが、その理由は単位が千円以下の部分について、円で表示しなければならないからですか。

■川合事務局次長 差し替えについては、申し訳ありませんでした。

基本的には千円単位で説明しておりますが、円単位で説明した方が分かりやすい部分があり、意図的にそうしております。基本的には読み取りの際には、千円単位でお願いします。

■教育長 田島委員。

■田島委員 三尾委員の言われているのは備考のところですか。

■川合事務局次長 そうです。円単位で表示をしているのは、14ページの歳出④、⑥です。

■教育長 田島委員。

■田島委員 小学校の備品購入ですが、これはパソコンの購入ですか。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長 蛭川小学校は増級に関わって、ロッカー、黒板、掲示板、机、いすなどを購入するものです。ギガスクールの関係で1人1台パソコンの説明について、誤解があるかもしれませんが、GIGAスクール構想の校内LANのネットワーク整備は、小学校・中学校の児童・生徒1人に1台パソコンを整備するという条件で、校内LANの整備に補助金がつくので、それで整備をなさйтеというものです。年度については、国からまだ通知がありませんが、令和2年度以降の補正予算、令和3年度の当初予算以降の整備になると想定されております。ご質問の備品はパソコンではありません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 1人1台という政策が国からあり、エントリーしたということですか。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長　そうです。

■教育長　田島委員。

■田島委員　国は1人1台パソコンについて、何にお金を出してくれるのですか。

■教育長　川合事務局次長。

■事務局次長　今回、補正予算で上げた分ですが、総合教育会議では、各小中学校の校内LANのネットワークの通信速度が100メガで整備されていると説明しましたが、国が最終的に想定しているのは10ギガで、現在の100倍の速度です。1人1台パソコンを整備するとしても、校内LAN、通信速度がそれに見合わない、パソコン、タブレットが使えませんので、まずは環境の整備を行うということで、今回の事業を計上しました。

■教育長　田島委員。

■田島委員　それで、何を補助してくれるのですか。

■教育長　川合事務局次長。

■事務局次長　校内LANのケーブル、ハブという学校まで来た通信ケーブルをいくつかの部屋に分ける装置、教室内は無線で使えるようにするWifiのアクセスポイントの機械、電源ユニット、タブレットを保管でき充電する装置の設置が補助対象です。パソコンに関しては、パソコンかタブレットか選択できますが、本体そのものに対して1台当たり4万5千円を補助してくれるということです。現在、中津川市には児童・生徒が6千人余りいまして、整備が完了しているのが、子どもたちのパソコンが707台です。8人に1台程度です。ただ、ほかの自治体もですが、パソコン教室で1クラス全員の児童・生徒が使えるか、2人に1台になるかというレベルでしか整備されていけませんので、今回の通知があったときには、全国的にどの自治体も大変混乱し、対応に苦慮しています。

■教育長　田島委員。

■田島委員　1人1台のパソコン1台につき4万5千円は補助があるということですね。修理代や保守の費用は含まれますか。

■教育長　川合事務局次長。

■事務局次長　本体だけではパソコンは動きません。WindowsなどOSの起動ソフトが必要なのと、それだけでは何もできないので、学習用のソフトも必要です。今、教育委員会ではリースで設置していますが、実際にリースした場合、本体の費用だけでなく、それが使えるようにセッティングする費用、Wifiに通信できるようにする費用、最終的にパソコンを廃棄するときに、データが残っていると個人情報など漏れてしまうので初期化する費用、教育に使うソフトの費用など、使うに当たりさまざまな費用がかかります。その費用は各自治体持ちです。あと、故

障したときも当然、市の持ち出しになります。

まだ国が意思をはっきりしていませんが、伺っているのは、初めて入れるパソコンで、令和5年までは補助の対象ですが、更新する際は、今のところ各自治体の費用ということですので、更新時にはかなりの持ち出しが要ると思います。あと、6千人ほど児童・生徒のうち対象となるのは、全児童・生徒の3分の2です。残りの3分の1は、総合教育会議で少しご説明しましたが、地方交付税対応になっている費用を各自治体で工夫して、整備しなさいということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 1人1台政策という非常に進歩的なことを掲げてくれた国の施策にならって、中津川も1人1台にするのでネットワーク環境を整備することを、もはやエントリーして進めているということですが、付随するものにかかる費用、今後、壊れたり機種が変わったりしたものに対する費用は、全部こちらでということは今、聞きました。総合教育会議のときに市長からも、「よく検討して結論を出す前に、委員の皆さんと議論していただくことに価値がある」と言われました。12月でしたから、あれからすぐに政府の方針が決まって、すぐにエントリーされたのでしょう。今、初めて伺いました、市長からの、「よく検討して、論議していただく」というのは、どこへ行ってしまったのでしょうか。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長 総合教育会議で市長の言われた意見は、本心としてはそのとおりでと思いますが、これは全国一斉に自治体が行き届かないような形で国から通知がありました。こちらとしても国の対応には大変疑問がありますが、ここで乗り遅れて、もし中津川市だけ対応しなかった場合に、教育の進め方がどうしても1人1台パソコンがないと授業が成り立たないことになった場合、今回の補助金に係る部分もすべて負担しなければいけないというジレンマもあり、とりあえず、市長、副市長と協議し、財政とも協議して、情報政策課とも、ネットワークに絡むことなので協議しました。金額的なことは大変疑問の残るところではありましたが、とりあえず他の市町村が行き届き、県内でも今のところ手を挙げない自治体はない状況の中で、苦渋の選択としてこれに乗ったというご判断をされたということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 思いはよく分かりましたが、その場に私たちも臨席し、市長とお話をしてからお知らせがなくて、ここに至っているということに疑問を持っております。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 12月13日に総合教育会議でそういったご意見をいただいて、国の閣議決定が同日にされております。それで、12月中に国からこのGIGAスクー

ル構想に手を挙げるのか意思表示を求める第1回目の調査がありました。総合教育会議の話の流れでいけば、委員に緊急に集まっていただいてご意見を伺うのがよろしかったかもしれませんが、緊急のこともあり、各市の状況を確認し、中津川市も手を挙げるという回答をしました。申し訳ございません。第2回が年を明けてありましたが、そのときも政策推進部の政策会議という形で、大きな予算を使うので財政とも協議して、市としてこちらの事業に参加する形になりました。そのときに委員の意見をお伺いしなかったことにつきましては、大変申し訳ございませんでした。

■教育長 ほかにご質問、ご意見等ありますか。

三尾委員。

■三尾委員 歳出⑮のご寄附いただいた金額を、美術館建設及び美術品等取得基金積立金にしたと書いてありますが、今現在、この積立金の額はどれぐらいか教えてください。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 その額の手持ち資料がありませんので、調べて後程、報告します。

■教育長 そのほかご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

■教育長 田島委員。

■田島委員 修繕という項目がとてまたくさんあります。学校、公民館、他の施設でも。ここ数年、災害以外の修理箇所が大変増えているような気がします。これは同時期に造ったものが多いためだと思いますが、先々のことを考えて点検はされているのでしょうか。市民が使うものなので、けが、事故につながるものもあるかもしれませんので。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長 学校施設等では、文化施設でも同様と思いますが、令和元年度に個別計画を立てるに当たって、そうしたことを検査できる業者に入らせていただいています。老朽化の状況を調査していただき、予算のこともありますので、その計画に沿ってできるかどうかは別として、たとえば東小学校はどこの改修が必要かということ調査して、今後の計画に生かすような作業を、つい最近までかかってやっていました。これは、総務部にも報告を出していますので、今後、改修の計画に生かしていけるものと思っております。ただ、田島委員がおっしゃったように、同じ時期に学校も建設されておりますので、一度にやろうとすると大変費用がかかります。総論では、マスタープランを担当している資産経営課とも協議してやっていくことになると思います。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 補足します。修繕工事が多い理由として、受注機会の平準化というこ

とで、どうしても年度当初は設計等が間に合わなくて発注が減少しています。これを平準化するために3月補正で前もって予算化することで年度当初から工事の発注ができるようにということです。

■教育長 ほかにありますか。

ないようでしたら、「4 令和2年度中津川市一般会計予算うち教育に関する事務に係る部分」について、説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 教育委員会事務局分について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 23ページ、発達支援センターの歳出の通所支援について、ご説明ください。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 つくしんぼとどんぐりに通っている障がい児等の、療育指導の状況を支援するということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 通所代ということですか。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 そうなりますが、国と県から主に支援費として入ってきます。

■教育長 小関事務局長。

■小関事務局長 通所支援というのはまさに支援センターの事業そのもの、メインのところですか。これに必要な人件費や、物品といったものが、発達支援センターの児童発達支援事業の費用として、令和2年度は7397万9千円計上しています。397万9千円ほど増額になってはいますが、これは実際にお子さんの面倒を見ていただく、会計年度職員の保育士さんを増員することによって、正規の職員ではありませんが、人件費が上がりますので、この経費が平成31年度より370万円ほど上がっています。

■教育長 田島委員

■田島委員 通所支援ということで、利用している保護者への負担がなく、この言葉になっているのかなと思ったのですが。

■教育長 発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 保護者への負担には、国からの給付費がありますので、それでまかなっております。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 端的には、子どもさんを通所で通わせている家庭からお金をいただいているということはありません。

■教育長 田島委員。

■田島委員 これは中津川市だけのことですか。それとも、こういう支援施設に来ている子どもたちは全国的にみんな無料で通所できるのでしょうか。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 全国的に行なわれている事業です。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 ほとんどの部分は、国の事業のお金でまかなわれていますが、一部自己負担が本来あります。中津川市がその自己負担部分を負担しています。それで子どもさんの家庭からは一切お金をいただいています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 言いたかったのは、中津川市の特徴がここに表れているということです。どんぐりの移動教育委員会のために、「よそは違う、中津川市は援助してくれてありがたい」という言葉を母親がおっしゃいました。これは非常に中津川市にとってアピールすべきポイントで、中津川の済み良さをしっかり外に出していただきたいと思います。通所している人はご存じかもしれませんが、中津川につくしんぼ、どんぐりがあること自体を理解していない市民もたくさんいます。中津川はこんな手厚いケアができているということは、非常にアピールポイントになるので、こういうことを打ち出していただけるといいと思います。

■教育長 西尾発達支援センター所長。

■発達支援センター所長 ピアール不足で申し訳ありません。ホームページなり広報紙なりで、そのときの状況も踏まえてピアールしていきたいと思えます。

■教育長 林委員。

■林委員 23ページ、子ども相談・支援事業のところの△400万円余というのは、具体的に何で減るのですか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 正規職員で心理士を4月から採用したので、臨時職員でまかっていた賃金の減です。正規職員1人雇い、臨時職員を3人解雇しましたので、その3人分の賃金です。

■教育長 林委員。

■林委員 人数が減っても大丈夫なのでしょうか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 3人で1人工やっていたので、1人採用することで件数は確保できますが、正規職員を雇うことで継続したものがあるというメリットがあると思っています。

■教育長 林委員。

■林委員 21ページ、学力向上支援事業にとっても関心があります。3300万円という大きな金額は、人件費だけですか。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 さらさ講師AとBがあり、Aはほぼ教員と同じぐらいの授業数を行なっていただきますので、昨年度より2万円ほどベースアップを図っています。人数も昨年英語指導助手という名前で現状3名雇用していますが、4名増員して、7名にします。現在、第二中学校に配置している中津川型の35人程度学級の講師も来年度、坂下中学校と坂本中学校で増員の可能性があるということで、さらに2名分を確保していますので、合計10名分となります。さらさ講師Bで今まで指導助手と言っていたものも、10時間以内の授業を単独実施しますので、月額1万円程度プラスしています。さらに1名増員します。これが会計年度職員での任用になりますので、ボーナスや交通費がつきます。そういったベースアップ分も含めて多くなっております。さらにスクールサポートスタッフを2名増員しました。これも時給制ではありますが。こういった賃金がほとんどを占めています。さらに、学校の図書館司書の待遇改善も10%ほど良くしました。ほぼ人件費です。

■教育長 そのほかございますか。

ないようですので、続いて、文化スポーツ部の予算について、説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 文化スポーツ部分の説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 24ページ、歳出の体育施設維持管理事業から△が続いていますが、この説明をお願いします。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 手元に詳細な内容についての資料がありませんので、後

程、お答えします。

■教育長 ほかでご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 25ページの芝居小屋管理のことです。まだ、椅子化の話は出ていませんか。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 具体的には、椅子化という話までは出ていませんが、令和2年度中に常盤座保存会、明治座の管理をしているむらづくり協議会とも協議をしていきたいと考えています。この予算には反映されていません。

■田島委員 椅子にさせていただくと、きつともっとたくさんの方がご来場される気がしますので希望します。

■教育長 そのほかご質問等ありますか。

林委員。

■林委員 よく一般の人の感覚で意見を言ってくださいと言われるので伺います。26ページの鉱物博物館に関する5つの施設の、運営についてではないですが、単純に令和2年度予算の歳出のバランスを見て、どういう感想を持たれるか伺いたいと思います。

■教育長 林鉱物博物館長。

■鉱物博物館長 博物館事業は使用料を取らないのが基本的な考え方ですが、多少でも運営費をいただきたいということで、このように歳入と歳出の差が大きくなっています。現実的にはすべての人が博物館や美術館を楽しんでいただくことがメインで進めている事業なので、どうしてもこういう差になってしまいます。

■林委員 そののところは、最初に教えていただいて理解していますが、やはりそれぞれのところで、去年より今年、一人でも多くの方に興味を持ってもらい、もっと大勢の人が来館されるように、去年も来たけど今年もという人も含めた展示や内容を深めることを、もっと進めてやっていくのをとても期待します。

■教育長 林鉱物博物館長。

■鉱物博物館長 一生懸命ピーアールしています。今年の1月末は去年より各館とも入館者数が増えています。ただ、今後もまたピーアールはしっかりやっていきたいと思っています。

学校などへは、心の旅路館だけが今ピーアールしているので、校長会等に出させてもらって、5館合わせて団体学習のピーアールをもっと進めていきたいと思っています。

■教育長 ほかにご質問等ありますか。

田島委員。

■田島委員 中津川市の予算の総額と、それに対する教育委員会の予算の割合を教えてください。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 手持ちの資料がありませんので、後程、確認して報告します。

■教育長 田島委員。

■田島委員 数年前から市の全体の予算が一律何%か下げられているように聞きますが、それは本当ですか。人口減少もあると思いますが。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 当初予算の編成時に財政当局の方から、前年度の歳入の状況が非常に厳しいので、歳出の方も減額する形で組むような話は当然来ていますが、実際にはどうしても必要な経費がありますので、それを上げまして、財政と協議して、市全体的には予算減という状況です。歳入に合った歳出にという依頼は来ています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 私も一般市民の一人ですので、そういう話を聞いたことがある中で、自分としては子どもたちのためにだけは別の処置の仕方をしてほしいと思っておりました。そこで、小木曾教育次長が説明された3300万円については、強気で行ってよく取れたと絶賛しています。まさに子どもたちのために尽くしてくださったという結果が出ていると思い、感激してお礼を申し上げます。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 先程、ご回答できなかったものもありますので、休憩をいただくとありがたく思います。

■教育長 それでは、10分間、休憩とします。

[休 憩]

■教育長 再開します。先ほどの回答について、お願いします。

池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 24ページで、昨年度と比べマイナスとなった5事業について説明します。体育施設維持管理事業は、主なものは、坂下総合体育館の防火シャッター修繕で、500万円ほど減となっています。その分の減です。B&G海洋センター運営事業は、福岡B&Gの工事費が300万円ほど減となっています。中津川公園管理運営事業は、中央監視装置の更新工事費で870万円ほど減となっています。公民館を拠点とした地域づくり事業は、阿木交流センターが完了したこ

とにより、1億6千万円ほど減となっています。青少年健全育成事業は、坂下のまちづくり協議会が、コミュニティ事業でラフティングを活用したイベントで100万円減となっています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 原因を聞かせていただきました。この△を見ると動きがストップしているようで不安に思いましたので。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 令和2年度の中津川市の予算案における教育費の占める割合について。中津川市の令和2年度の一般会計・特別会計・企業会計、すべての予算案の総額は10万未満は省略で、766億900万円です。このうち教育費を含む一般会計予算案は、384億3200万円です。本年度、このうちの教育費は46億2800万円です。一般会計に占める構成比は12%です。令和元年度は10.9%でした。予算額では、42億4700万円ですので、令和2年には3億1100万円ほど増額になっています。なお、教育委員会の関係では、幼児教育課で、民生費に含まれる保育園に関する費用がありますが、こちらは切り分けしないといけないので入っていません。

平成31年度・令和元年度の全体の金額は、一般会計・特別会計を含めた総額は756億9400万円、このうち一般会計は388億円です。

■教育長 原文化振興課長

■文化振興課長 美術館建設及び美術品等の取得基金の積立額は、1桁間違えておりまして、先ほど5億9千万円と申し上げましたが、5980万円の間違いでした。

■教育長 そのほかよろしいですか。

では、議第6号の1から4まで通して、ご意見等がありましたらお願いします。

ないようでしたら、議第6号の1から4については承認ということによろしいでしょうか。

それでは、議第6号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第7号「美術品等の購入に伴う諮問について」提案説明をお願いします。原文化振興課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。
三尾委員。

■三尾委員 大ざっぱで結構ですが、これらの作品は私物なのか、博物館等の所蔵なのか、どこから購入するのか教えてください。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 青邨画伯の本画の1、2及びスケッチの8点と平山郁夫氏、安田靉彦氏の12点は、青邨画伯の血縁関係の方からの購入を予定しています。3の風神雷神は画廊の紹介を受けての購入を検討しています。

■教育長 そのほかありますか。

田島委員。

■田島委員 去年もこうして絵を買われたということで、承認させていただきました。どういう目的で購入されておられますか。

■教育長 原文化振興課長。

■文化振興課長 青邨画伯は、前は青邨記念館がありましたが、今は取り壊しております。将来的にはそういった美術館構想も組み立てていく必要があると思いますが、そういった折りに展示ができればということで購入しています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 およそ10年になるでしょうか、新町につくられようとした新図書館の中に、美術館機能をもたせる構想があったのを皆さんはご存じでしょうか。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 当初は複合ビルという形で美術館も含めた構想で進めてみえました。それが破たんし、現在は交流プラザという形で計画を進めており、それについては前に説明させていただいています。美術館構想がありませんので、2年ほど前の一般質問でもお答えしました。将来的には美術館をつかっていきたいという中で、やはり青邨画伯が生誕した新町付近がいいだろうという中で、現在、構想を進めています。建設計画は総合計画の後期あたりで、基本構想ができたらいいうことで進めています。

■田島委員 交流プラザの中に入れるという問題ではなくて、新しく美術館として建てるという構想ですか。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 今のことはまだ事務レベルの話ですので、正式にどういう形というのはまだこれからです。交流プラザとは別で考えたいです。

■田島委員 10年前以降、ずっと美術館建設のことが表に出てこなかったもので、8万人都市の中津川で、熊谷守一はありますが、美術館がないというのは寂しいことだと思っていました。中津川は青邨だけではなく、守一、熊谷樞、安江静二など大家が輩出されているふるさとであり、東山魁夷ともゆかりがあります。是非でき

るだけ早いうちに、構想ではなくて、調査委員会のようなものをつくって引っ張っていただかないと。だんだん人口も減り使えるお金も少なくなっていく中で、美術館だけではなくて、生涯学習でやらなければいけないことは人づくりですので、美術を見て心を豊かにする人もいる、音楽を聴いて心を豊かにする人もいる、演劇もそうですし、それぞれの形があると思いますが、美術館は大切なものだと思います。そこで、心を豊かにすることが中津川の次の世代にもつながっていくよりよい人づくりにつながっていくと思いますので、生涯学習課からも委員会を立ち上げるぐらいの勢いで、引っ張っていただきたいと思います。まだ、これから努力が要るみたいです。

■教育長 ほかにご意見等ありますか。

林委員。

■林委員 田島委員の意見とほぼ一緒ですが、少し付け加えます。何で中津川に美術館がないのかと聞かれることもあるくらいです。偉大な画家ですので、早く建設をと思いますし、それができたら本当にもっと中津川に興味を持つ方も増え、ひいては鉱物博物館にも足を延ばされるかもしれませんので、その部分も期待します。ここにある作品は、少し小品な感じがします。もし美術館を想定されるなら、もう少し大作も中津川市の所蔵にするという意向を持ち、画廊から風神雷神ということでしたが、いろいろなところに作品は多分ありますので、そういう方にも努力していただきたいと思います。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 田島委員、林委員から言われたことは、民間の方々からも伺っていますので、私どもとしてもリニアに向けたまちづくりの一つとしてやっていきたいです。ただし、全体の財政状況の中で、他に先行する事業もあるので、そういうものも踏まえた中で判断したいと考えています。

■教育長 ほかによろしいですか。

ないようでしたら、議第7号については、承認ということによろしいでしょうか。

議第7号「美術品等の購入に伴う諮問について」は、原案どおり承認とします。

これもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について、報告をお願いします。

川合事務局次長。

■事務局次長 次回の開催日は、令和2年3月4日、水曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は、3月4日、水曜日ですので、よろしくをお願いします。

以上で、令和2年第2回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会 （午後4時10分）]